

事業所名

どうのしっば

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

2 月

28 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの笑顔を広げ感性を引き出す空間作りを目指す ひとりひとりの個性を大切に思い、安心できる居場所を目指す 子どもたちの成長を見守り、育て、サポートしていく 保護者の方々、支援者の困りごとに寄り添い、都度、情報共有を行い連携した支援力を高めていく 社会資源の1つとしてネットワークを広げ、地域と共存を目指す 「できない」を「できる」という方向に導き、チャレンジ精神を養う職場を目指す 					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活との連続性を重視し、健康管理と生活支援を基盤に、社会参加・生活の質（QOL）の向上を目指す 一人ひとりの状態に応じた無理のない活動を通して、役割や楽しみを見出す支援を行う 					
営業時間		9 時	15 分から	18 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校後の健康状態の確認を行う 医療的ケア（吸引、経管栄養等）の実施 疲労に配慮した休息調整を図る 生活習慣の維持支援を行う 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチ、関節可動域訓練の実施 姿勢保持、座位保持支援の実施 日常動作の維持・向上を図る 余暇活動としての感覚刺激を実施 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 活動の見通し提示を行う 安心できる環境調整を整える 行動の意味理解と適切な対応を説明していく 学校生活の振り返り支援の実施 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示手段の拡大を試みる やり取りの経験の積み重ねを通して意欲向上を図る 要求・拒否の表出支援を行う 他者との関わりの機会提供を行う 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他児との関わり（無理のない範囲）を広げていく 集団活動への段階的参加の実施 役割づくり（簡単な参加行動）の実施 社会性の基礎形成を構築する 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校後の様子、体調変化の共有を行う 進路や生活に関する相談支援を行う 介護負担軽減支援を行う 家庭との連携強化を行う 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員、学校、関係機関と連携した進路調整を行う 移行先事業所への情報提供（医療的ケア、生活状況等）を行う 見学・体験利用の調整および同行支援を行う
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校との情報共有（連絡帳・会議等）を行う 相談支援専門員との連携を行う 医療機関・訪問看護との連携を行う 卒業後（生活介護等）への移行支援を行う 				職員の質の向上	必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、支援員の知識と技術の向上を図る
主な行事等		各季節に沿ったイベントを開催する。例として、花見、七夕祭り、夏祭り、クリスマス会を企画する。※体調に配慮した季節行事の実施・感覚刺激や季節感を感じる活動・外出は安全確保が可能な範囲で実施					